

# 安田町における高知大学の取り組み ～地域と大学のコラボレーション～



赤池慎吾  
(高知大学地域連携推進センター)

## 目次

### 本日の内容

1. 高知大学KICS化事業  
～地域コーディネーターの役割～
1. 安田町と高知大学との連携事例

# 高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)

文部科学省 地(知)の拠点整備事業



<http://www.kochi-coc.jp/>

## 地域に深く入り込むために

1. 県内7ブロックにサテライトオフィス設置
2. 4ブロックに地域コーディネーターを駐在
3. サテライト教室の整備(県内6カ所)
4. 高知県産業振興推進地域本部との連携
5. 高知県地域社会連携本部(高知県・高知大学)
6. 地域活性化の中核的拠点を目指した改組
7. 地域志向研究経費/地域志向教育経費

### ① 日常的なコミュニケーションの促進機能

地域住民、行政、企業、団体などの様々な主体間で情報や知識を日常的に共有・調整する。

様々な主体と



様々なテーマを



様々な場所で



地域に一番近い教員として、**日常的なコミュニケーション**を心がける

## ②地域研究や地域活動のマッチングとサポート機能

地域課題を精査し、研究者との連携を図る。研究成果の地域還元を支援する。

マッチング

地域介入のサポート

フィードバック



研究や教育の成果を、どのように**地域振興に活かす**ことができるか。

## ③研究や地域活動の実践主体としての機能

UBCの専門性を活かして、地域課題解決のための研究を行う。アドバイザーや専門家としての地域貢献。

専門を活かす

外の視点と  
内の気持ち

いろいろな  
方法で！



**地域との新しい関係**をつくっていく。

## 教育

- 地域を教育の場とする教育プログラム(実習)
- えんむすび隊(スタディーツアー)の実施
- ゼミ・ボランティア活動とのマッチング

## 研究

- 地域や企業のニーズに沿った研究者紹介
- 県内外の高等教育機関・専門機関のマッチング
- 地域志向研究の支援

## 学びの提供

- 出前講座の開催
- 土佐FBC東部教室の開催
- 講師派遣・ワークショップの開催



## 目次

### 本日の内容

1. 高知大学 地域活性化への取り組み
2. 安田町と高知大学との連携事例

### 連携協定に基づく活動(平成25年3月25日締結当時)

- 町の健康づくり事業への参画と支援(医学部)。
- 農業従事者へのセミナー等の開設(農学部)。
- 唐浜化石発掘場の調査・研究(理学部)。

### 安田町集落活動センターなかやまとの連携スタート (平成26年度KICS化事業～)

- ジネンジョ栽培やイベント支援。
- 医学部看護学科による地域実習。
- 日本・インドネシア学生による長期実習。
- 森林鉄道の調査・研究(人文学部)。
- 学生団体による地域活動スタート。

## ジネンジョ栽培やイベント支援

### えんむすび隊

※えんむすび隊とは、本学が独自に開発した、高知県をフィールドにした地域活性化人材育成プログラム「ワンデイ・バスツアー」です。「地域」とはなにか、五感で体験します。

農作業を通じて地域理解を促す



### 連携の波及効果

- 耕作放棄地の解消(H26:2畝、H27:4畝、H28:1反計画)。
- 住民の地域理解(魅力・課題)や自信を得る。
- 新たな刺激(やってみよう!)を提案する。

### 地域生活者支援実習

※中山間地域の生活環境を理解した上で、高齢者が慢性疾患等とどのように付き合いながら暮らしているのかを実習を通じて学びます。

#### 地域で活躍できる医療人材の育成



#### 連携の波及効果

- 特定健診の受診率向上 (H24:38%,H25:44%,H26:43%)
- 医療情報・知識の普及 (イベント展示、広報紙)。
- 医学的な調査の実施 (アンケート調査)。

### SUIJI-サービスラーニングプログラム

※日本とインドネシアの6大学の学生が、四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、地域社会が直面している課題に取り組みながら学ぶサービスラーニング・プログラムです。

#### 地域社会の課題を理解し、その解決に取り組む



#### 連携の波及効果

- 長期滞在による踏み込んだ連携。
- 国際的な視点から地域を考える (日本の常識)。
- 安田町を世界に発信 (英字パンフレット)。

## 学際的な社会調査プロジェクト

※人文学部をリーダーとする学際的なアプローチで、中芸地域のオーラルヒストリーを調査し、その成果を地域に還元する。

人々の記憶を記録し、次世代・世界に発信する



## 連携の波及効果

- 高知人文社会科学学会シンポジウム開催（平成28年3月5日）
- 文化・伝統を記録する。学術分野への発信。
- 人が集まる仕組み（資料館・ミュージアム）

## 学生団体による地域活動スタート

### 中山を元気にし隊

※高知大学コラボ考房プロジェクト。1年間、学内教職員が学生団体の企画のブラッシュアップやチーム作りをサポートする仕組み。受け入れ地域の企業と連携する。

学生が自分の力で地域に何ができるか考える



## 連携の波及効果

- 地域と多様な主体とをつなぐ。
- 若者・外部者の視点で地域づくり。
- 地域と学生のつながり。

- 高知大学KICS化事業  
<http://www.kochi-coc.jp/>
- 高知大学KICS化事業 安芸地域の取り組み  
<http://www.kochi-coc.jp/info/list.php?SID=2007>  
※「研究内容で探す」からキーワードで教員を検索できます。
- 『高知大学地域連携推進センター2014』  
平成25年度民間企業等との共同研究一覧(134件)  
[http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/report/2014book/\\_SWF\\_Window.html?pagecode=57](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/report/2014book/_SWF_Window.html?pagecode=57)
- 高知大学地域連携推進センター 知的財産部門  
<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/~ckkc0001/chizai/>